

県内経済の動き

概況

〔2020年4月～2020年6月の動き〕

個人消費、生産ともに厳しさが続く。雇用も弱い

鉱工業生産指数（4月）は7カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（5月 細島港）は3カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（5月 全店ベース）は3カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（6月）は9カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（5月）は2カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（6月 保証対象請負総額）は4カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（5月）は前月比0.08ポイント低下し1.12倍となった。6月の企業倒産は前月比1件増の3件、負債額は同6億43百万円増の7億63百万円となった。

経済活動が再開し、一部の指標ではマイナス幅が縮小しているものの、新型コロナウイルスの影響により本県経済には依然として厳しさが漂っている。